



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

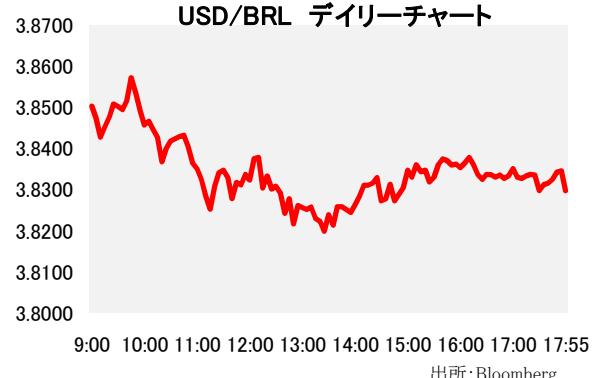
1. マーケット・レート

			9月10日	9月11日	9月14日	9月15日	9月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8490	3.8700	3.8150	3.8620	3.8290	-0.0330
	BRL/JPY	Spot	31.33	31.16	31.50	31.19	31.48	+0.29
	EUR/USD	Spot	1.1279	1.1338	1.1320	1.1267	1.1291	+0.0024
	USD/JPY	Spot	120.64	120.59	120.22	120.43	120.58	+0.15
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.539	14.761	14.420	14.662	14.514	-0.148
	Future	1Year(p.a.)	15.230	15.136	14.790	14.952	15.026	+0.075
On-shore	6MTH(p.a.)	2.740	2.886	2.656	2.718	2.651	-0.067	
	USD	1Year(p.a.)	3.876	3.886	3.619	3.718	3.646	-0.072
株式	Bovespa指数		46,504	46,401	47,282	47,364	48,553	1,189
CDS	CDS Brazil 5y		386.00	395.30	385.81	381.76	373.91	-7.84
商品	CRB指数		198.007	196.721	195.799	196.015	198.976	+2.96

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

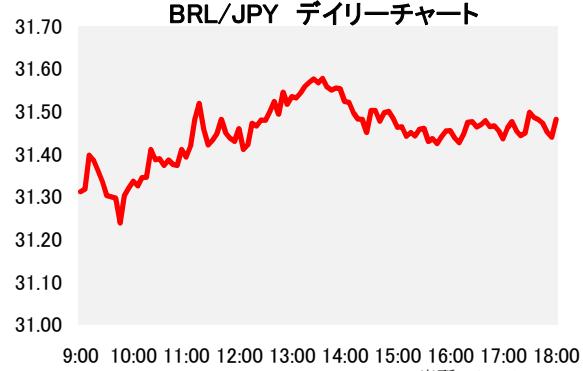
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.25%	0.28%	0.21%
小売売上高(前月比)	-1.0%	-1.0%	-0.5%
小売売上高(前年比)	-3.8%	-3.5%	-2.7%
広義小売売上高(前月比)	-0.2%	0.6%	-0.7%
広義小売売上高(前年比)	-7.7%	-6.8%	-3.6%
(米)MBA住宅ローン申請指數	--	-7.0%	-6.2%
(米)消費者物価指數(前月比)	-0.1%	-0.1%	0.1%
(米)ネットTICフロ-合計	--	\$141.9B	-\$129.7B



3. 要人コメント

ルセフ伯大統領	ブラジルは予算のバランスを取り、インフレをコントロールしなければならない。住宅支援プログラムは慎重に継続されるだろう。
---------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.8630で寄り付いた。中国株が政府支援と思しき買いで終了直前に急伸し3日ぶりに反発したことから、アジア株は全面高となった。リスクオンムードでレアルはオープン直後に本日の安値となる3.8670を示現するとその後は堅調に推移した。早朝に発表された7月の伯小売売上が予想ほど悪化しなかったこともレアルを支援した。レアルは高値となる3.8200をつけるも、その後格付け会社のフィッチがブラジルが2015年に更なる景気減速に陥る可能性を見ており、2016年の成長見通し次第で格下げのリスクが高まると発表すると、レアルは反落し3.84近辺まで売られた。引けにかけて小反発し、結局、3.8290でクローズした。
- 朝方発表された米週間石油統計で原油在庫が予想に反して減少したことを受け、原油価格は大幅続伸した。WTI先物の10月限月ものは47ドル台前半まで急伸し、引け値としては8月末以来の高値となった。
- 格付け会社S&Pは日本の格付けをAA-からA+に格下げし、見通しを安定的とした。日本の財政状況は極めて脆弱で、アベノミクスによって経済が今後2、3年で信用力を好転させるまで改善する可能性が低いと判断したことが格下げの主な理由となっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。